

広報させぼ 情報カレンダー 06. 1月



日	月	火	水	木	金	土
1 元日 パールクィーン 初日の出クルーズ	2 振替休日	3	4 官庁仕事始め	5	6 消防出初式	7
8 成人式典 小柳賞シティロードレース大会 バラの冬期管理講習会	9 成人の日 自然観察エコスクール	10	11 中小企業金融公庫出張相談	12	13 発明相談	14 エイズと性感染症 予防講演会・コンサート、講演会「住み慣れた地域での暮らしを考える」
15 松の手入れ講習会	16	17	18 幼児教育センター講演会	19 高校卒業予定者 対象合同企業面談会 心身障害児(者) 作品展～22日	20	21
22 市児童管弦楽団 定期演奏会	23	24 幼児教育センター 調理講習会	25 出前保育「みんな よっといでー」	26 幼児教育センター 調理講習会	27	28 女性の悩みごと・ 県内一斉子どもの 人権相談所 ペアでクッキング 動物黙舎探検隊
29 心の健康づくり フェスティバル、 サイエンス広場 であそぼう、ツルの 北帰行観察会	30 市人権教育研究 大会	31	毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談 (13～15時、佐世保商工会議所)	1月は第2水曜 毎月第2金曜 発明相談(10時～15時30分、市役所商工労働課)		

2月上旬の主な行事予定

- 2/1 さかなクンのおさかなイラスト展(～28日)
- 2/4 九十九島かき食うカキ祭り(～19日)
- 2/7 出前保育「みんなよっといでー」
- 2/11 動物黙舎探検隊

テレホンガイド

救急・火災

- 医療機関案内 ☎23-8199
- 火災情報 ☎0180-999-999
- エイズ相談・性感染症相談
- 専用相談電話 ☎0120-104-783
- Eメール shc783@city.sasebo.lg.jp

教育相談

- 青少年教育センター ☎22-0077
(毎月第3日曜の13時～16時には、休日教育相談を受け付けています)

女性相談

- スピカ ☎24-6180
(水曜と祝日を除く毎日、9時～16時)

消費生活相談

- 市消費生活センター ☎22-2591
(土・日曜、祝日、年末年始を除く毎日、8時30分～17時15分)

1月の健康テレホン

- 県保険医協会 ☎23-4300
3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます
- 月 悪性リンパ腫 火 あごの変形
- 水 子どもの下痢のときの食事
- 木 強皮症
- 金 成人の矯正歯科治療について
- 土、日 見つけにくい婦人科のがん
- 12月28日～1月4日 おならが多い

人のうごき (12月1日現在)

総人口 248,334人 (-116)
男 116,874人 (-75)
女 131,460人 (-41)
世帯数 98,411世帯 (-40)

11月中のうごき

転入 447 転出 581
出生 215 死亡 197

見て、聞く
させぼ
市政だより

テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)

NBC(9時25分) NIB(11時25分)
NCC(11時40分) KTN(17時25分)

ラジオ

NBC 毎週日曜日 9時25分
FM長崎 毎週火曜日 9時05分

長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄

動き始めました！新生佐世保市

～新しい佐世保市の魅力を全国にアピール～

11月2日～6日、「全国合併市町村 夢フェスタ2005」が東京都の汐留シオサイトで開催されました。

このイベントは、「平成の大合併」で誕生した市町村が、新自治体としてのまちづくりの取り組みや新しい特産品などを全国へ紹介する目的で行われ、全国から132の市町村が参加しました。会場となった汐留シオサイトは、商業施設やテレビ局、オフィスビルなどが立ち並ぶ東京の人気スポットの一つで、利用者の多い新橋駅とも隣接しているため、平日には約25万人が行き交うと言われています。

本市は、多くの人に「新しい佐世保市」を知ってもらうため、「合併市町村PRコーナー」へ出展して、新佐世保市をアピールしました。佐世保市のブースには、観光や特産品の情報を求める人や、ふるさと佐世保の情報を求める人など、たくさんの人が訪れました。



◁情報を求めて、佐世保市のブースを訪れる来場者

歴史散歩 486

飯盛山の由来(指方町)

早岐から西海橋に通じる国道202号に面して曹洞宗の小島寺があります。寛文8年(1668)早岐押役を勤めていた平戸藩士の鮎川左太夫が開基したもので、山号を飯盛山と言います。その由来は寺の後ろにある標高193mの飯盛山にちなんだもので、左太夫も戒名に飯盛院殿月湖普景居士と使っています。

三省堂刊「日本山名辞典」には、佐世保市内で唯一の飯盛山として載っています。しかし、相浦の愛宕山も宗家松浦氏が支配していた永禄7(1564)年ごろまでは飯盛山でした。このほか赤崎岳もその西側に「西飯盛」の古名が残っており、三川内の新行江町や、宮の長畑町、大塔町などにも飯盛山があります。このうち相浦が飯盛権現を祀っていたように、いずれも信仰



と深いかわりがあることは、全国的にも数多くある飯盛(森)山がよく物語っています。それでは、飯盛の起りは何でしょうか。その答えが万葉集の防人歌にあります。「荒雄らを来むか来じかと飯盛て 門に出で立ち待てど来ませじ」がその歌です。8世紀前半の神亀年中、大宰府・宗像の老船頭津麻呂に代わって対馬に食糧を運んでいて遭難死した志賀島の荒雄を哀れんで、その妻の心情を歌ったものです。古代、危険を伴う旅に出る人の無事を祈る神事が、碗にご飯を盛ってささげることだったのです。



どこの飯盛山もあまり高くなく、海路、陸路の近くにあり、ご飯を盛ったような姿の美しい山です。後年、修験道の山伏の拠点ともなった飯盛山こそは、千年以上の歴史を物語っているのです。(筒井隆義)